

新型コロナウイルス感染症の予防生活もとても長くなり、だんだんと対応疲れが出てきたのではないのでしょうか。毎日検温し、三密を防ぎ、課題に取り組み…と、真面目に生活している人ほど、気分が落ち込んでくることがあるかもしれません。心が折れそうになりますが、新型コロナウイルス感染症の予防生活で、みんなが手を洗う習慣が身につき、次の冬はインフルエンザが流行しないで、元気に過ごせることに期待して、もう少し頑張りましょう。

お知らせ

① 定期健康診断の日程の変更について

新型コロナウイルス感染症予防のための休校に伴い、日程が全て、**変更**になりました。今後、新たな日程が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

※健康診断を実施する際には、新型コロナウイルス感染症を予防するために、密集しない工夫や対応を、学校医と相談し取り組んでいきます。

② 身体測定（視力・聴力）について

学校が再開されましたら、身体測定（視力・聴力）を行います。定期健康診断と同じく、新型コロナウイルス感染症を予防するために、**密集しない工夫や対応**を行います。

③ 布マスクの配布について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、文部科学省から学校に、布マスクが一人二枚配布される予定です。（5月7日現在、まだ届いていません。）配布は一枚ずつ、二回に分けて行われます。（二回目は5月の以降の予定）先に配布された地域では、汚れや虫の混入など不具合があったとのことですので、**ご家庭で確認**していただき、不具合がありましたらお知らせください。

④ 換気による寒さ対応について

換気の悪い密閉空間を避けるため、生徒が活動する間は、休み時間だけでなく、常時窓を開けている状態になります。天候により寒さ対策が必要になりますのでご準備ください。**詳しくは、生徒指導部から出されるお便りをご覧ください。**

⑤ 心のケアについて

新型コロナウイルス感染症への不安や恐れなど、心理的なストレスを抱えている生徒がいることが考えられます。学校再開後、心のケアについて心配なことがありましたら、お知らせください。スクールカウンセラーと協力して、対応していきます。

※文部科学省のホームページに、子どもや保護者が相談できる「24時間子供 SOS ダイヤル」が掲載されています。夜間休日を含めて対応しています。電話をかけた所在地の都道府県の教育委員会の相談機関に接続されます。

24 時間子供 SOS ダイヤル

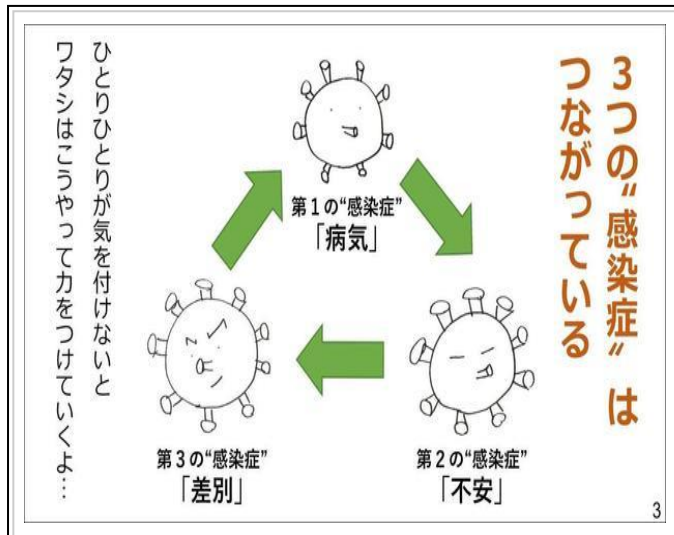
0120-0-78310

（なやみ言おう）

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～

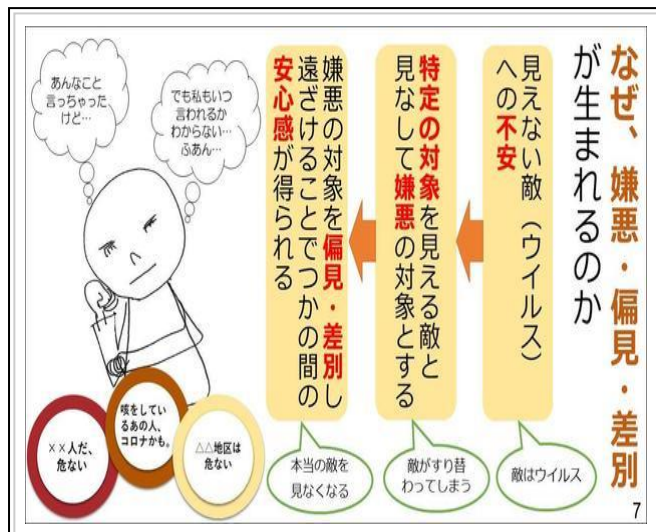
日本赤十字社のホームページ (<https://www.jrc.or.jp>) に、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」が掲載されています。知らず知らずのうちに、私たちも影響を受けている「3つの感染症」の説明が載っていますので、詳しく知りたい人は、お家の人とぜひ一緒にみてください。今回は、この中でも一番考えてほしいところを抜粋しました。



3つの感染症の中でも、
今一番私たちに影響を及
ぼしているのは、実は「第
3の感染症：差別」です。

第3の“感染症”は
嫌悪・偏見・差別です

ウイルスがもたらす
不安や恐れは人間の生き延びようとする
本能を刺激します。
そして、ウイルス感染に
かかわる人や対象を
日常生活から遠ざけたり、
差別するなど、
人と人との信頼関係や
社会のつながりが
壊されてしまいます。



新型コロナウイルスへの不安
は、病気に対する偏見や差別を
強めます。みんなそれぞれ、感
染を拡大しないように頑張っ
ています。この事態に対応して
いる全ての人々に敬意を払い
ましょう。

※そのほかにも、諏訪中央病院の玉井 Dr. がホームページで、「新型コロナウイルス感染症をのりこえるための説明書」（全国版・地方版・要約版など）で、どうして人と人との距離が2メートル離れなくてはいけないのか、手を消毒する意義など、イラスト入りで、わかりやすく説明してくれています。

5月も検温（健康観察カード）をよろしくお願いします。

4月20日（月）の登校日の際に、5月の健康観察カードを配布しました。
忙しい朝の体温測定は、本当に大変だと思いますが、新型コロナウイルス感染症が
終息するまでは、体調管理のためにご協力よろしくお願いします。

